

講義科目名称： 専門ゼミナールⅡ

授業コード： 1650500300

英文科目名称： Special Nursing Seminar Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	必修
担当教員			
◎堀江 正男、◎岡村典子、◎石田和子、◎常盤洋子、◎大久保明子、◎小長谷百絵、◎谷本千恵、◎高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 共通基礎系・看護系教員（教授、准教授、講師、助教で担当）</p> <table border="0"> <tr> <td>◎堀江 正男</td> <td>（共通基礎系）</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>◎岡村 典子</td> <td>（基礎看護学）</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>◎石田 和子</td> <td>（成人看護学）</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>◎常盤 洋子</td> <td>（母性看護学・助産学）</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>◎大久保 明子</td> <td>（小児看護学）</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>◎小長谷 百絵</td> <td>（老年看護学）</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>◎谷本 千恵</td> <td>（精神看護学）</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>◎高林 知佳子</td> <td>（地域看護学）</td> <td>304</td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します</p> <p>【研究室】</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【大学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 ◎</p>	◎堀江 正男	（共通基礎系）	315	◎岡村 典子	（基礎看護学）	216	◎石田 和子	（成人看護学）	317	◎常盤 洋子	（母性看護学・助産学）	320	◎大久保 明子	（小児看護学）	207	◎小長谷 百絵	（老年看護学）	213	◎谷本 千恵	（精神看護学）	312	◎高林 知佳子	（地域看護学）	304
◎堀江 正男	（共通基礎系）	315																							
◎岡村 典子	（基礎看護学）	216																							
◎石田 和子	（成人看護学）	317																							
◎常盤 洋子	（母性看護学・助産学）	320																							
◎大久保 明子	（小児看護学）	207																							
◎小長谷 百絵	（老年看護学）	213																							
◎谷本 千恵	（精神看護学）	312																							
◎高林 知佳子	（地域看護学）	304																							

到達目標	<p>1. 研究計画書に基づき、データ収集・分析を行うことができる。</p> <p>2. 一連の研究プロセスを看護研究論文の構成に則り、論理的に記述できる。</p> <p>3. 研究成果を抄録にまとめ、発表することができる。</p>
授業概要	<p>専門ゼミナールⅠで作成した研究計画に基づいて研究を遂行し、看護研究論文を作成する。研究成果のプレゼンテーションを通して、発表とディスカッションの方法を体験的に学ぶ。</p>
授業計画	<p>1-30 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：研究計画に沿った実施</p> <p>論文作成</p> <p>成果発表</p> <p>学習内容：研究計画に基づいてデータ収集・分析を行い、その結果を考察して論文にまとめる。</p> <p>看護研究発表会でプレゼンテーションを行う。</p> <p>備考：</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：研究テーマや研究手法に関連した看護研究論文を読む</p> <p>事後学習：看護研究の取り組みに関する自己の課題を明らかにする</p>
評価方法、評価基準	<p>論文の作成状況（論文の完成度、主体的な研究遂行）70% 発表会でのプレゼンテーション・質疑応答15%</p> <p>ゼミナールへの参加貢献度（発表内容、討議への貢献度）15% 発表会の参加は必須とする。</p> <p>評価は各領域の担当教員が責任を持つ。</p>
必携図書	<p>特に指定しない。</p>
参考図書・資料等	<p>各教員より適宜紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>各ゼミナールの開始時の指示に従うこと。</p> <p>論文提出および発表会の詳細については、別途ガイダンスで説明する。</p>
教員からのメッセージ	<p>看護研究のプロセスを通して、批判的思考力、論理的に書く力、プレゼンテーション能力などを身につけましょう。</p> <p>論文作成は個人作業ですが、ゼミ生間で議論したり、協力し合いながら、より良い論文を作りあげていってください。</p>
オフィスアワー	